

報道関係者 各位

平成21年8月5日
厚生労働省健康局結核感染症課
照会先: 中嶋、江浪、山口
(電 話) 03(5253)1111
内線(2373、2925)

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

8月5日、大阪府大阪市より、新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成21年8月5日
大阪市保健所
感染症対策担当課長 吉田英樹
電話06-6647-0653

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

大阪市において平成21年7月27日のPCR検査により翌7月28日に新型インフルエンザの感染が確認された患者について、人工呼吸器を使用した症例が確認されましたのでお知らせします。

【患者概要】

年 齢：6歳
性 別：男児
基礎疾患：なし（乳児喘息の既往あり）

【経 緯】

7月25日 咳嗽あり。
7月26日 38.0℃の発熱。近医を受診し、左の無気肺を認めたため、入院。抗菌薬の処方開始。
7月27日 インフルエンザ迅速簡易検査にてA陽性。PCR検査実施。タミフル投与開始。無気肺により呼吸状態が増悪したため気管内挿管にて人工呼吸及び酸素投与を開始し、転院。抗菌薬は中止。
7月28日 PCR検査の結果、新型インフルエンザ患者と確定。
7月30日 抜管（人工呼吸中止）。
8月1日 酸素投与終了。解熱。タミフル終了。
8月5日 食事量の回復が得られたため退院。

※ 本症例については、喀痰の貯留・気管支閉塞による無気肺であり、新型インフルエンザによる重症患者ではありません。